



神話伝説の山里

たかちほごう

つうしん



世界農業遺産
高千穂郷・椎葉山地域

「高千穂郷」通信

NO.175

平成29年8月号

(発行：宮崎県西臼杵支庁)



世界農業遺産 高千穂郷・椎葉山地域 活性化協議会 第1回総会が開催

6月28日(金)に、高千穂町役場にて「世界農業遺産高千穂郷・椎葉山地域活性化協議会」の第1回総会が開催され、5町村長(高千穂、日之影、五ヶ瀬、諸塚、椎葉)や県の部長(農政水産部、環境森林部)、JAや観光協会等地元団体の長からなる委員25名を含め、約60名が出席しました。

本年度は、認定地域で生産される農林産物等のブランド認証制度の確立をはじめ、地域で行う取組への支援やPRに力をいれるなど、引き続き積極的に事業を展開することを確認しました。来年1月には大分や熊本の認定地域と連携し、本地域で中学生サミットを開催することも決定しました。

またこの日、役場正面玄関横で標柱の除幕式も行われ、本地域のロゴマークがデザインされた標柱が披露されました。



網ノ瀬川に親水場を整備!

西臼杵支庁が行う砂防事業の一環で、日之影町鹿川地区を流れる網ノ瀬川に水遊びができる親水場を整備しました。7月25日(火)には、記念イベントを開催し、ヤマメ100匹を親水場に放流、イベントに参加した小学生が元気につかみ取りに参加する姿がありました。

親水場は、大小2面あり、地域住民の方が清流である網ノ瀬川に気軽に親しめる場所として整備されたもので、安全に子供の水遊びができるスペースとして今後の利活用が期待されます。7・8月はプールとして開放します。詳しくは、日之影町役場地域振興課、鹿川地区交流センターまでお問い合わせください。



△親水場で遊ぶ子供の姿

西臼杵地区認定農業者協議会総会・交流会を開催

6月29日（木）に、ゆめゆめプラザTACにおいて「西臼杵地区認定農業者協議会総会および交流会」が開催され、会員と関係機関あわせて55名が出席しました。

認定農業者とは、認定農業者制度により町が認定した農業者で、自らが作成した経営改善計画の目標に向かって意欲を持って取組んでおり、地域振興にも欠かすことができない中心的な経営者です。

3町あわせて360人が認定されており、この協議会を通して会員同士の情報交換や連携強化、経営管理能力向上研修会等への参加など、積極的な活動が行われています。



△総会の様子

西臼杵地域農林技術連絡協議会総会・研修会を開催

6月30日（金）に、五ヶ瀬町市民センターにおいて「西臼杵地域農林技術連絡協議会総会及び高千穂地区営農振興協議会合同研修会」が開催され、農業及び林業の技術職員60名が出席しました。

平成28年度に県協議会西臼杵支部から独立して再出発した当協議会は、行政、学校、団体等が有機的に連携できる唯一の協議会として、10の専門部会を設置し、情報交換や研修会を開催するなどして活動しています。

今回は、6月14日に登録が決定した『祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク登録と今後の課題』について、祖母傾ユネスコエコパーク推進協議会の岩本俊孝会長から講演をいただきました。大分・宮崎両県にまたがるこの地域の地質的な歴史背景や成り立ち、貴重な生物多様性の宝庫であること、10年後の再指定に向けて準備が必要であることなど、とても興味深く有意義な研修会となりました。



△エコパーク登録について講演



△岩本俊孝会長

体系的農家研修の開講式が行われました

7月5日（水）、26日（水）に、西臼杵農業改良普及センターにおいて、「西臼杵地域体系的農家研修開講式及び新規就農期研修会」が開催され、管内の新規就農者や認定農業者等が出席しました。

5日は、宮崎県農業経営支援課の上田重英主幹から、西臼杵地域にある土壌の特徴やそれにあった肥料のやり方について、26日は、宮崎県農業経営支援課の後藤弘主査から、農作物を病害虫から守るための基本的なことについて講演していただきました。

今後も農業経営や飼料作物等についての研修会を開催します。研修会に参加したい方や興味のある方は、西臼杵農業改良普及センター（電話：0982-72-2158）までお問い合わせください。



△日高所長の挨拶



△研修の様子

遠い汽笛・溪谷の駅舎(えき)

～ 旧高千穂鉄道を巡るシリーズ ～ 【最終回】



旧高千穂鉄道を巡る旅もいよいよ大詰めです。高千穂駅を出発した鉄道の旅も、残すところあと2駅で郡境を越えます。

その後は旧北方町をひた走り、終点の延岡駅へ向かいます。シリーズ最終回となる今回は、日之影町のかつての玄関口であった、**槇峰(まきみね)駅**と**日向八戸(ひゅうがやと)駅**を訪ねました。



△槇峰駅のホームの風景です。かつてこの駅を利用しながら通勤や通学をされた思い出がある人も多いのでは・・・。

▽いまなお残る槇峰駅の駅舎は、白塗りの簡素な作り

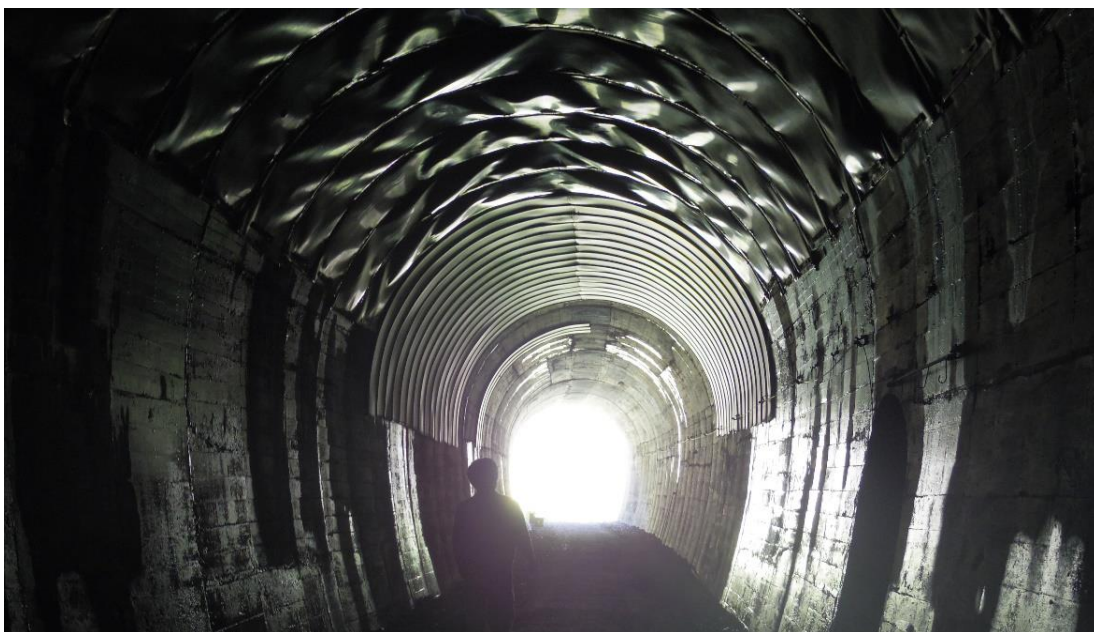
▽槇峰駅の看板。次駅の「かめがさき」は、旧北方町



日向八戸駅は、八戸の中心地にある駅です。上の写真はホームですが、線路は完全に撤去されていて、歩道になっています。裏手の立派な建物が駅舎(?)かと思いましたが、現在は地区の公民館として利用されています。



槇峰駅のホームから、かつてレールが敷いてあった道を辿っていきます。左手に五ヶ瀬川が流れ、右手に新緑の山々を眺めながらの散策。身も心もリフレッシュすることでしょう。



程なくして道はトンネルへ。かつて高千穂鉄道が運行されていた頃、まさにこのトンネルを鉄道が走っていたのだと思うと、非常に感慨深い思いになります。

トンネルを歩くと、なんだか不思議な気持ちになります。未知の場所を冒険しているみたいで、担当者も、少年の頃のわくわく感が蘇ってきました(笑)

高千穂鉄道が運行を休止したのは今から12年ほど前。私は現役時代の高千穂線に乗ったことはなく、現存する写真や動画で当時の様子を知ることしかできません。

「一度でいいから乗ってみたいかった！」記事を書くにつれて、その気持ちは増していきました。高千穂線の復活をただただ願うばかりです。4回にわたりおつきあいいただき、ありがとうございます。(編集後記・土木課石元主事)

管内3町と西臼杵支庁との意見交換会

西臼杵支庁と管内3町との意見交換会が、各町の役場内で開催されました。当日は、緒嶋県議会議員にもご出席をいただき、県が推進する施策の充実につながる貴重な要望等をいただきました。

西臼杵支庁の業務は、管内3町と密接に連携を図りながら進める必要があることから、当日は、県と町の施策について交互に説明を行い、互いの業務の内容について理解を深めました。今後も、支庁と管内3町との円滑な連携を図りながら、業務に取り組んでいきます。



△意見交換会の様子

第11回全国和牛能力共進会宮崎県代表牛決定検査会で西臼杵地域から代表牛が選出！

7月3日（月）・7日（金）に、小林市の小林地域家畜市場において、9月に宮城県で開催される全国和牛能力共進会の宮崎県代表決定検査会が開催されました。

県内7地域から約130頭が出品され、全9部門中、西臼杵からは第2区（若雌）に高千穂町の林秋廣さんが出品した「ゆうぎり5」が宮崎県代表に選ばれました。

全国和牛能力共進会は5年に1回開催され、和牛のオリンピックとも呼ばれており、宮崎県勢の全共3連覇が期待されています。皆さんの応援をよろしくお願いいたします。



△代表に選ばれた高千穂町の林秋廣さん

五ヶ瀬町の牧地区で高齢者の居場所づくり活動

五ヶ瀬町三ヶ所の牧地区集会所では、月に1回、近所の高齢者が集まっているいろいろな作業を行ったり、食事をしながら談笑することで、親睦を深める時間を設けています。

この活動は今年1月から行われています。特に冬場は、家にこもりがちになる傾向があることから、高齢者が家から出てきやすい環境を作るために、有志のボランティアの皆さんや、認知症地域支援推進員・生活コーディネーターの方々により活動が行われています。こうした取組を通して、元気な高齢者が多い地区になることを期待します。



△日中の活動の様子

高千穂高校のインターンシップ体験

7月3日（月）からの2日間、高千穂高校2年生の生徒4名が、インターンシップを体験しました。今後の進路を選択する上で、公務員を志望する生徒の皆さんに、西臼杵支庁にはどのような業務があるのかについて知ってもらう目的があります。

インターン期間中は、支庁の各課の業務内容に関する説明や、工事の施工現場を見学してもらい、西臼杵支庁が行っている事業等について理解を深めていただきました。



△説明を聞く生徒の皆さん

◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課 TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760